

実践報告資料

研究テーマ『 学校・家庭・地域が連携し、人権尊重に対する理解を深めながら、自他を認めあえる人権感覚豊かな「共生生活」をめざす 』

研究内容【 ①、(2)、③、(4) 】※重点的に取り組む内容に○を入れる。

学校名 (尼崎市立成文小学校)

ア 人権教育としてのねらい ・人権教育の精神を学び、確かな人権感覚を身につける。 ・自尊感情や他者への敬意を持てる心をはぐくむ。				
イ 研究の概要 ・人権教育の観点において、教科等・道徳・特別活動の3領域の系統化を図る。 ・人権教育の取り組みを公開し、家庭との連携や啓発方法を模索する。 ・オープンスクールや参観授業などで、人権教育の授業を行い、保護者や地域の人々に学習活動の成果を発表する機会を設ける。 ・なかよし交流(異学年活動)を通して、豊かな人間関係や社会性をはぐくみ、学校の人間関係づくりにつなげる。 ・教職員の指導体制における共通認識を図る。				
領域	教科(生活科)	教科(図画工作科)	道徳	特別活動
指導者	第1・2学年担任 人権教育推進教員	第5学年担任	人権教育推進教員 第3学年担任	人権教育推進教員 第3・4学年担任
実施日	5/11	5月・6月	6/22	6/30
取組名	がっこうたんけん	ね～むロードつながる 35	元気の出る言葉がけ	あなたならどうする？
目 標	学校を支えている人がいることに気づき、親しみをもって接することができる。	鑑賞活動を通して、互いの表現や工夫を認め合う態度を養う。ひとりひとりの作品をつなぎ合わせて一つの大きな作品を完成させることで連帯の意識を深める。	自分たちが普段使っている言葉について振り返り、どんな言葉が相手の気持ちを傷つけ、温かい気持ちにさせるのかを知る。	相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えることの大切さに気づき、自分も相手も大切にしようとする態度を育てる。
資料名	1・2年 生活科		校内作成ワークシート	「自分を大切に友だちも大切に」(ほほえみ)
指導内容や指導方法の工夫等	学校の設備を知り、学校生活を支えている人に気づく。 学校施設の利用の仕方について考え、安全に気をつけて正しく利用し、学校生活の正しさを1年生に伝える。	個人の作品ができたところが完成ではなく、最後にクラス全員の作品をつなぎ合わせて『道』をつくるまでを完成とすることで、連帯感を出すようにする。交流する時間を持ち、感想を言い合うようにする。	どんなときにどんな気持ちがしたのかを思い出させる。たとえ自分にとって悪気のない言葉でも、相手は傷つく可能性があることにも気づかせる。	これまでの経験から、友だちとの日常の会話の中で自分の思いが伝わらなかった場面についてふりかえる。実際に学級で起こった事例を取り上げるようにする。ロールプレイを取り入れ、伝え方によって受け止める気持ちが違うことを実感させる。

実践報告資料

研究テーマ『 学校・家庭・地域が連携し、人権尊重に対する理解を深めながら、自他を認めあえる人権感覚豊かな「共生生活」をめざす 』

研究内容【 ①、(2)、③、(4) 】※重点的に取り組む内容に○を入れる。

学校名 (尼崎市立成文小学校)

ア 人権教育としてのねらい ・人権教育の精神を学び、確かな人権感覚を身につける。 ・自尊感情や他者への敬意を持てる心をはぐくむ。				
イ 研究の概要 ・人権教育の観点において、教科等・道徳・特別活動の3領域の系統化を図る。 ・人権教育の取り組みを公開し、家庭との連携や啓発方法を模索する。 ・オープンスクールや参観授業などで、人権教育の授業を行い、保護者や地域の人々に学習活動の成果を発表する機会を設ける。 ・なかよし交流(異学年活動)を通して、豊かな人間関係や社会性をはぐくみ、学校の人間関係づくりにつなげる。 ・教職員の指導体制における共通認識を図る。				
領域	教科(生活科)	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
指導者	第2学年担任 NPO法人ママの働き方 応援隊	第4・5学年担任 兵庫県警察本部 サイバー犯罪対策課	全学年各担任 人権推進教員	第4学年担任 教頭・人権推進教員
実施日	10/12	10/14	12/5～9	10月末～3学期
取組名	赤ちゃん先生	情報モラル教室	いいところみつけ	4年1組の絆
目 標	赤ちゃんとの触れ合いを通して、命の尊さや親に大切に育てられた自分の存在について気づかせる。	ネット依存やネット被害について学び、ルールやモラルを守ることの大切さを理解する。	友だちのいいところを見つけて伝えあい、互いの自尊感情や自己有用感を高められるようにする。	劇の練習をする中で、自己表現力を磨いたり、連帯意識を育てたりする。
資料名	1.2年生活科	サイバー犯罪対策課資料		劇づくりプロジェクト (校内作成資料)
指導内容 や指導方法の工夫等	2年生を対象に赤ちゃんとは交流する。班に一人ずつ赤ちゃんとお母さんが入り、赤ちゃんに触れたり、赤ちゃんについて質問したりする。 体験後に、感じたことやわかったことを友だち同士で交流し、絵日記にしてまとめさせる。	インターネットの危険性を知り、安全なネットやスマホの使い方について考え、自分たちの実生活に生かせるようにする。 ■内容■ ・個人情報の流出 ・フィルタリングの効果 ・不正ダウンロード ・ネット依存 など	友だちのいいところを言葉とメッセージで伝える。できるだけ、具体的な理由づけをするように心がける。また、もらったメッセージを元に、自分のよいところについて、カードにまとめて掲示するようにする。	せりふの言い方やジェスチャーは、各自で考えるようにし、友だち同士で相互評価しながら進めていく。演技は、教師がお手本を見せ、ゆっくりとした動作を心がけるようにさせる。また、歌をうたう場面を取り入れるようにする。